

こいのぼりづくり

雨が心配されながら行われた毎年恒例の「こいのぼりづくり」。さすが、会員たちの日ごろの行いの甲斐あって天候に恵まれ、ドイツ、メキシコ、中国などの国籍を持つ人たちが集い、楽しく「こいのぼりづくり」を行うことができました。

「こいのぼりづくり」と言っても、今年は作品のテーマを“鯉のぼり”にこだわらない人が多く、浮世絵風の美人画だったり、ポケットモンスターだったり、不動明王を描いたりしている人もいました。また、これぞ「アーティストの感覚！」とばかり、私のような凡人には全く理解できないし、また「What is this?」なんて野暮な質問も恥ずかしくてできないなんていう作品もありました。

「もうすぐ、私は中国に帰りますが、岩倉の美しい伝統文化であるこいのぼりづくりに参加できたことを嬉しく思います。娘にとっても良い思い出になると思います」という、声も聞くことができました。これからもぜひ続けていきたい行事ですが、岩倉市在住の外国籍の人たちにも、もっと声をかけ、参加を促していきたいと思っています。

(取材：岡部節美)

＜参加者より＞



Daniel NOTFALL (カナダ出身)

The experience of making a traditional Japanese craft was very interesting. I was impressed by the amount of work that it takes to make these carp flags. I enjoyed learning how to start from the making of the pattern on plain material, painting it, then adding the rice glue and finally the painting. For me, the most difficult part was the painting of the pattern, but it was also the most fun. Overall, I was glad to have had the opportunity to participate in this activity. Thank you everyone.

こいのぼりづくりはとても興味深いものでした。鯉のぼりを作るのにたくさんの工程があることが印象的でした。最初に白い布に模様を描き、色鉛筆で輪郭をつけて、糊を置いて、最後に染料で色付けするというものでとても楽しかったです。私が最も難しかったのは、最後の染料を塗る作業でした。でも、それも楽しいものでした。この催しに参加できたことは素晴らしいことでした。皆さん、ありがとうございました。

ダニエル ノトゥフォール (協会訳)

ありがとう、日本のみなさん！

Friederike kleinitz

私の名前はフリーデリケ・クライニッツ、日本ではフリーデと呼ばれていました。ヒッポファミリークラブの交換留学生としてドイツのライネから来ました。岩倉でホームステイしながら、岩倉総合高校に10か月通い、6月30日にドイツへ帰ります。

「ふれ愛まつり」では、国際交流協会のブースに行きましたが、まだ言葉がよく分からないのと、知らない人が多いので緊張していました。お正月には餅つきをしたり、スキーにも連れて行ってもらったりしました。初めてでしたが、まあまあできました。3月の春休みには、高校の友達と韓国へも行きました。韓国は短い滞在でしたが、ほとんど眠らないで遊びました。桜が美しい五条川の道を何回も散歩しました。あの桜をまた見たいです。

5月には、こいのぼりづくりに参加して、日本の舞妓さんの絵のタペストリーを作りました。ドイツへ持ち帰る素敵な記念の品になりました。馬籠にも連れて行ってもらい、日本の古い街並みに感動しました。

私は小さい時からバイオリンを習っていましたから、日本でバイオリンを弾けるチャンスがあるかどうか心配していましたが、岩倉市ジュニアオーケストラに参加することがで

きました。ほとんど毎週のように消防署の2階で練習して、何回かコンサートにも参加できました。帰国直前の6月15日には、市役所のロビーで「お別れコンサート」を開いてもらい、ヒッポや高校、ジュニアオーケストラの友達と一緒に出演してくれて本当にうれしかったです。高校では書道、陶芸、デザイン、服飾、茶花道、ハングルなど、珍しい教科も選択できて、いろいろなことにチャレンジできて自信ができました。

ホスト家族のお父さん、お母さん、弟、妹、それからヒッポの仲間、高校の先生やクラスメート、その他、たくさんの人たちのおかげで私は無事に10か月を過ごし、ドイツへ帰ります。そしてドイツの人たちに日本のことをいっぱい話します。

日本でのことを忘れません。必ずまた帰ってきます。

協会のいろいろな行事に顔を出してくれていたドイツからの交換留学生のフリーデ。

彼女が帰国前に協会に日本滞在の感想を寄せてくれました。



こいのぼりづくりに作った舞妓さんのタペストリーを披露するフリーデさん

マレーシアに行ってきます

岩倉市が当協会に委託して実施している中学生海外派遣事業で、8月22日から30日まで、マレーシア国バハン州テメロー地区に14人の中学生を派遣します。マレーシアへの派遣事業は、今年で3回目となりますが、今年もテメローのホームステイ村の家庭に一人ずつホームステイすると共に、現地の学校SMK MENTAKABに3日間体験入学し、生徒らと交流します。

このマレーシア派遣の報告会を9月23日（火・祝）に予定しています。ぜひみなさん彼らのアツイ夏の思い出を聴きにお出かけください。

世界のお惣菜 ～バングラデシュ料理編～

7月13日（日）、南小学校調理室にて大人21人、子ども4人の参加を得て、チキンカレーとキャベツコロッケ作りに挑戦しました。

クーラーもない暑い調理室では、講師のカムランさんの指導の下、皆さん汗をふきながらの調理となりましたが、出来上がった料理はとても美味しく夏の暑い日にぴったりの辛さでした。

参加者の皆さんも、「カレーのスパイスがいつも家で食べているのとは全然違っておいしい」、「コロッケもカリッとして野菜の甘みがある」と好評でした。



レ・シ・ピ

チキンカレー（4人分）

とりもも肉	1.5 枚（ひと口大）		
玉ねぎ	中 1 個（うすくスライス）	コリアンダー	小さじ 5
ローリエ	2 枚	シナモン	小さじ 1
ジャガイモ	中 2 個（ひと口大）	しょうが	小さじ 4（おろしたもの）
ニンジン	小 1 本（2 cm 角）	にんにく	小さじ 3（おろしたもの）
サラダ油	大さじ 2	チリパウダー	小さじ 1/3 ～ 1/2
ターメリック	小さじ 2	塩	小さじ 2 ～ 2.5
クミン	小さじ 5	水	400 ～ 500cc

投稿求む！

協会では、COMに掲載する原稿を募集しています。内容はご自分やご家族の海外生活での体験談や海外の人との交流で感じたことなど、何でもかまいません。

ただし、単なる紀行文や観光地の紹介はご遠慮ください。

【応募要領】 200字～800字程度 写真2～3枚程度を添付

【送付先】 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2 内藤和子方

【その他】 メールによるデータ送信をご希望の場合、事務局までご連絡ください



ホストファミリー募集中

「マイ・ファミリー・プログラム」に応募してください。協会では近隣に住む留学生や研修生を、日常的に受け入れていただけるご家庭、「マイ・ファミリー」を募集します。一度だけの受け入れではなく、いわば日本の里親的な感覚で、いつでも連絡をとりながら、交流していただきます。「留学生とホストファミリーの集い」を企画したり、「マイ・ファミリー」相互の交流も進めていきます。

お問い合わせは、協会事務局まで！

会員の継続手続きをお願いします

協会の各事業は、会員皆様の会費と岩倉市の国際交流事業補助金で運営されています。会費を納入していただけないと事業の実施ができなくなります。今年度の会費が未納の人は早急に納入をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会費 家族会員3口（3千円）以上

問合先 内藤（0587-66-7347） 中山（0587-66-8573） 三浦（0586-87-1077）

出野（0587-37-2495） 堀尾（0568-78-6308）

会報 COM第59号（2008年8月1日） 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷

http://www.iies.info/